



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 r o b o t h o m e
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 古 木 大 咲
(コード番号：1435 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 安 井 慎 二
(TEL. 03-6447-0651)

通期連結業績予想と実績値との差異及び
債務保証損失引当金の戻入、繰延税金資産の計上に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました通期連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2025年12月期決算において、下記のとおり債務保証損失引当金の戻入及び繰延税金資産の計上を行うことといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

① 2025年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	1,400	1,350	1,100	12.24
今回実績 (B)	24,068	1,766	1,787	1,989	22.13
増減額 (B-A)	68	366	437	889	
増減率 (%)	0.3	26.1	32.4	80.9	
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	13,157	1,043	1,018	912	10.16

② 業績予想と実績値との差異の理由

当連結会計年度は、物件引渡棟数を始めとした営業指標において当初計画を達成したことに加え、下記「2. ① 債務保証損失引当金の戻入について」に記載の債務保証損失引当金の戻し入れを行ったことにより業績予想を上回る営業利益及び経常利益を計上いたしました。

加えて、下記「2. ② 繰延税金資産の計上について」に記載の通り法人税等調整額が減少したことに伴い親会社株主に帰属する当期純利益が当初予定よりも増加しております。

その結果、売上高は業績予想通りに、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を上回る着地となりました。

2. 連結決算

① 債務保証損失引当金の戻入について

今後の業績見通し等を踏まえ、債務保証の履行金額について慎重に検討した結果、債務保証損失引当金の戻入（△は利益）△291百万円を売上原価に計上いたしました。債務保証損失の戻入による業績への影響等につきましては、本日公表の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

② 繰延税金資産の計上について

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上いたしました。これにより、当連結会計年度の法人税等調整額（△は利益）は、△368百万円となりました。繰延税金資産の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

3. 単体決算

① 繰延税金資産の計上について

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上いたしました。これにより、当事業年度の法人税等調整額（△は利益）は、△414百万円となりました。繰延税金資産の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上